

ほほえみ

児童数 232名
PTA会員数 178名
編集発行 文化部
上三川町上蒲生1725

1組



1年



入学式 4月12日(火)

2組



常日頃より皆様にはPTA活動へのご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
令和4年度は新たに三十七名の元気な一年生達が入学し、さらに活気あふれる北小となりました。恒例行事である田植えにおいては、経験したことのない足裏から伝わる泥の感触に驚きながらも、クラスの友達と楽しそうに作業している姿に、のびのびと学校生活を送っている事を感じ、大きな安心に包まれたところです。

さて、子供達を取り巻く環境は、未だ新型コロナウイルスの影響を色濃く残しておりますが、学校側の創意工夫において、学校生活が穏やかなものとして成り立っております。このような手厚い気遣いは、子供達も敏感に感じ取っており、日頃よりご尽力いただいております先生方をはじめ、関係者の皆様から感謝申し上げます。

学校生活を通して得られるものは、その時にしか得られない大切なものであり、北小で得られる楽しい思い出や感動など、一つでも多く心に残してもらい子供達には健やかな成長を遂げてもらいたいと考えております。

今後も、子供たちの健全な成長の一助となるようPTA活動を邁進してまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



健やかな
成長を願って

北小学校PTA会長 小池 克之

この作品に登場する二人の官僚は、沖縄県民の命を守るために己の信念を貫きました。様々な苦難に遭遇しながらも、「県民のため」という自らの職務を全うしようと奮闘しましたが、その姿勢、折れない心に深く感動しました。

また、戦争がもたらす悲惨な現実を直面しながらも、自分の信じることをやり通すことができたのはなぜなのだろうと深く考えさせられました。

さらに、官僚の一人、荒井退造氏は、栃木県宇都宮市の出身です。同郷の先達が、沖縄戦の渦中でも県民のために最善を尽くす姿に、ただただ圧倒されました。それとともに、今の自分に対して「もつとやるべきことがあるのでは。」と叱咤されたような気持ちになりました。

「島守の塔」という映画から、コロナ禍で先行きが不透明な社会状況の中、「子供たちのため」に大事なことを見失わないようにすること、そして「子供たちのため」に最善を尽くさなければいけないという想いを強くしました。保護者や地域の皆様、「北小の子供たちのため」に今後とも支援やご協力をお願いしたいと思っております。どうぞよろしく願いたします。



今、思うこと

北小学校長 黒須 親章

保護者の皆様、そして地域の皆様には、日頃より本校の教育活動及びPTA活動にご理解とご協力をいただきまして、改めて感謝申し上げます。

さて、この夏、「島守の塔」という映画が上映されました。この映画は、先の大戦で、唯一の地上戦が行われた沖縄を舞台としており、その沖縄戦末期に、軍の圧力に屈しながらも沖縄県民の命を守り抜こうとした二人の官僚(島田勲と荒井退造)と、沖縄戦で戦火に翻弄されながらも必死に生きる沖縄県民の姿を描いた作品です。